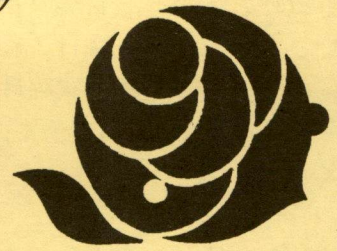


Rosa Plumula

ローザ・プルムラ

●茨城大学・大学教育研究開発センター



ニュースレター №.1

大学教育研究開発センターニュースレター第1号をお届けします。

このセンターは、教養科目の授業を円滑に進行するために、各学部から併任された先生方で組織されている機関です。今年の5月に発足しました。

センターではニュースレターを年4回刊行していきます。センターからのお知らせとともに学生諸君の教養科目に関する生の声を取り上げていきます。教養科目についてなんでも結構、ドンドン投稿してください。投稿先は教養教育第二係です。

このニュースレターのタイトルはラテン語で「Rosa plumula」で、「薔薇の若芽」を意味します。茨城大学の校章はノイバラ (Rosa Multiflora)。春から初夏にかけてスクスク成長するノイバラの若枝の勢いを、本学に入学された1年次諸君に期待して命名しました。
(谷口)

知 っ て る ？ ！

後学期は科目選択に「予備届」が必要！

分野別科目と総合科目の選択方法が変わります

前学期には、分野別科目や総合科目などの授業科目の選択のさい、予想外の混乱を生じ、学生諸君に多大な迷惑をかけました。当センター、企画室ともども深く反省しているところです。後学期も同様な混乱の発生が予想されますので、次の手順で授業科目を選択してもらうことになりました。

夏休み前に「履修科目届けの予備届」を提出していただきます。その結果、受講希望者が定員をオーバーしたクラスは、収容定員の大きな教室に変更します。それでもまだ定員をオーバーしている場合、受講希望者の中からコンピューターでランダムに受講者を決定します。各授業科目の受講者を後学期開始前に掲示しますから、掲示に従って授業に出席してください。

希望した授業科目を受講できない方は、同時に掲示されるまだ定員に満たない授業科目の中から希望授業科目を選択して出席してください。

下記を熟読して、ご協力ください。不明な点は企画室教養教育第一係の窓口で相談におうじます。

なお、「予備届」を提出しないと、希望する授業科目を受講できなくなる場合があります。かならず夏休み前に提出してください。

予備届の必要な科目は？

- ① 分野別科目 — 人文の分野 (水曜日2講時)
- ② 分野別科目 — 社会の分野 (金曜日2講時と3講時)

③ 分野別科目 —— 自然の分野（火曜日4講時，木曜日2講時と3講時）

④ 総合科目 —— （火曜日3講時と5講時）
「平成8年度教養科目履修案内」19ページを参照してください。

予備届を提出しましょう

- ① 提出期限：7月15日(月)～8月6日(火)
- ② 提出先：1年次生と水戸地区各学部の2年次生
以上は企画室教養教育第一係
工学部・農学部の2年次生以上は各学部教務係
- ③ 提出書式：「平成8年度教養科目履修案内」23ページに記載されている「履修科目届」様式と同じ用紙を「②提出先」で配布します。
- ④ 記入要領：「平成8年度教養科目履修案内」23ページを参照してください。
- ⑤ 注 意：前学期，総合科目を1つも受講できなかった学生は，「②提出先」で別用紙を受け取り，希望する総合科目の授業科目を記入して提出してください。優先して4単位まで受講できます。他の科

目については通常の方法で「予備届」を提出してください。

各授業科目受講者の掲示は9月27日(金)

定員オーバーした授業科目とその授業科目を受講できる学生を，9月27日(金)に掲示します。また，定員に満たない授業科目と受講可能学生数も掲示します。

掲示を見てからどうするの……

希望授業科目が受講可能になった学生は，10月1日から受講開始してください。

希望した授業科目を受講できなかった学生は，掲示を参照して，まだ定員になっていない授業科目の中から希望する科目を選択し，そのクラスに行き，担当教官の指示にしたがってください。

選択する授業科目が決定したら，「平成8年度教養科目履修案内」23ページ以下にしたがって，10月16日までに正式に「履修科目届」を提出してください。

後学期に追加開講される総合科目及び分野別科目

後学期に総合科目3本，分野別科目3～4本の授業科目が追加開講されます。分野別科目3～4本の詳細は後日，掲示によりお知らせします。総合科目3本は次の通りです。「予備届」提出するさい考慮に入れてください。

総合科目

(時間割コード) 1760 (科目名) 人間文化論
(授業科目) 「戦後50年，今私達の社会は — セカンドルネサンス」
(担当教官) 古井・小野瀬・結城
(授業の概要) 戦後50年の高度成長とはなんであったか，そのあとセカンドルネサンスともいふべき動きが起きている。最初に古井がこれについて述べる。次に水戸市の〈にんじん村〉にみられる新しい人間像を小野瀬が例示し，このあと結城が藤代町小貝川流域での「まちづくり」を紹介する。終わりに古井がこれらを日本文化の動き，流れに位置付ける。

(時間割コード) 1706 (科目名) 学際的科目
(授業科目) 「研究する喜び」
(担当教官) 橋本学長 各学部長
(授業の概要) 橋本学長を始め人文学部長，教育学部長，理学部長，工学部長，農学部長がそれぞれの専門の立場から，学問をすることはどんなことなのか，それぞれの半生をふりかえりながら研究の中に溢れている喜びについて語られます。

(時間割コード) 未定 (科目名) 人間文化論
(授業科目) 「健康科学」
(担当教官) 未定
(工学部Bコース2年次以上対象)

キャンパス情報

日立キャンパスから

日立キャンパスでは、8階建てで一際目立つシステム工学科棟が建替えられ、都市システム工学棟が整備される予定になっている。各学科の研究棟のほかに、日立キャンパスには共同研究開発センターという県内の他大学にはない施設があり、情報処理センター・図書分館・電子顕微鏡室・実習工場・体育館など教育・研究設備が整備されてきた。図書分館には、マルチメディアコーナーが設けられており、分館全体は夜8時50分（土曜日は4時50分）まで利用できる。

更に、3年前に運動場が整備された。芝生と夜間照明のグラウンドは学生にとって魅力的なものになっている。車両は、駐車場にゲートが設けられ許可された車しか入構できないように規制している。万が一の災害等の救助活動の妨げにならないようにという観点からすれば車止めも本来設置するのは望ましくないことを理解して、違法駐車がないようにしたいものである。

数年前の日立の山火事から派生した団地の火災で迅速な消火活動が行われなかったのは、路上駐車車の車が邪魔したからだという教訓を危険がいっぱいの『工学部』住人は十分に認識する必要がある。
(村野井)

阿見キャンパスから

二棟からなる学生寮（霞光寮）が完成し、7月1日から新寮での生活が始まりました。収容定員は82名で、入寮者は男子33名、女子37名、留学生男子8名、留学生女子4名です。国立大学で初めてバス付きの個室で（もちろんトイレ、キッチン、ベット、電話機が付いています）内部施設として、談話室、ライブラリーおよび洗濯室があります。これでなんと寄宿料は月額3,300円（光熱水道料・電話代は自己負担ですよ）。旧霞光寮から研究棟までは徒歩30秒でしたが、新寮からは緑豊かなキャンパスを歩いて3分で講義棟・研究棟に行けます。

歴史ある旧霞光寮（旧海軍航空隊司令部）はすでに取り壊されました。

なお毎週、木曜日午後4時まで、水戸キャンパスの共通教育棟1号館1階の工学部・農学部学生相談室で学生相談に応じています。履修、進路、生活上の問題

など、どんな相談でも結構です。学生相談室を活用してください。

(白井)



知って欲しい私の主題別ゼミナール

「自ン分学・非学問的学問入門」

後藤秀文（人文学部，1年）

桜のつぼみが希望と不安と共にほころび始めた春から半年間、この主題別ゼミナールに参加して私が感じたことを紹介します。

聞くところによれば、英文を訳して諸外国の文化的背景を探ったり、作文を書いたり教官によって内容は多岐にわたるようですが、私のゼミでは主に次の二つのことを中心に進めました。

一つ目は、指定された三冊の本を読んで、自分たちなりに思った感想を出し合ったこと。国際化という語がひとり歩きしている昨今ですが、日本と主に西洋を知るための本を読みました。普段、本に接する機会はなかなかないようですが、この三冊から今までまったく知らなかった歴史や文化を知り得たと思います。

二つ目は、大学周辺の写真を個人個人で撮ったこと。写真を撮る、なんてことは余りありませんね。それだけにみんな個性の強い写真を撮って、発表しました。建物や花、学内や郵便局員、友人や幼稚園生（友人の幼稚園生ではないと思います）など思い思いの写真は、バラエティーに富んでいておもしろかったです。

主題別ゼミナールは他の教育科目と違い、自分たちで進めていくゼミですから、暗に主体性が求められます。

それはゼミだけでなく、これからの学生生活にも必要になるものではないかと感じています。

「サイエンスコミュニケーションスキル」

高柿大輔（教育学部，1年）

「えっ、またレポート？」

他の学部学科はどうか知らないが、我々のコースはレポートが多い。大学というのはこういうものかもしれない。しかし、そうは思っても簡単にこなせるものでないということは確かである。

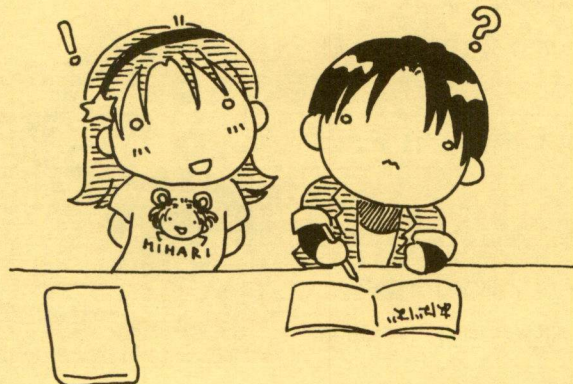
毎週押し寄せるレポートの大群に、私は耐えがたい苦痛を感じるが、なるべく早く理系として上手にレポートを書けるようにならなければならないという心境もありなんとかやっている毎日である。

主題別ゼミナールでは、レポートを書くということが一つの大きな課題になっている。

ある課題について自分で図書館で文献を捜してレポートを書くため、前半では図書館に行き、本の捜し方を懇切丁寧に教えて頂いた。後半では、実験の心構え、天秤や遊動顕微鏡といった理科実験に使う基本道具の原理や使い方、実験レポートの書き方を学ぶ。専門教科の物理学実験と平行して学べるので、非常に効率的で良い。

要するに、主題別ゼミナールでは、実験観察・資料、考察・レポートの流れを大略的に学べる。

高校までレポートなどを書いたことがなかったので、当初は実験や資料を集めても上手にまとめられずに大変であった。しかし、レポートは何回も書いて覚えるものであり、中身のある授業であるので、非常に満足している。



V o i c e

「入学はしたが」

徳田枝里子（農学部，1年）

1. 授業の選択について

選択の幅が狭いと思った。もっと自分の好きなように自由に授業を組むことができると思っていたので、余りにガッチリと決まり過ぎているように感じた。

単位を落とさないためには、とても良いと思うがそのために自分の余り興味のない授業を取るはめとなり、1時間半という時間が苦痛となり、しまいには

は授業にでたくなる。もう少し選択の幅を広げてほしかった。

2. 授業のクラス分けについて

よくないと思う？

自分の希望の場所についてガイダンスを聞くのだが先生によってその長さが違い第一希望がだめで第二希望の場所にいったらもう教室には、誰もいなかったということがあった。私の友達は、Ⓢの印を三つも押された人がいた。

そうになると、もうやる気がなくなる。外国語のクラス分けのような方が良かった。

掲 示 板 コ ー ナ ー

学生番号ってなーに

それは、右にある説明を読めば明快に解ります。

9 6 | L | 1 0 0 1 | G

① ② ③ ④

①は、入学年度とし、西暦の下2桁を表す。
(例 1996は96)

②は、学部記号とし、次の記号で表す。

人文学部…L 教育学部…P
理学部…S 工学部…T 農学部…A

③は、個人番号

④は、電算機処理のためのチェックディジットである。

自分の担任を知ってますか？

学生生活で様々な問題に直面した時、それを自分自身の力で解決しようと努力することは、とても大切なことですが、自分の努力だけでは解決できない問題について、一人悩んでいて時間と労力を消耗するのは好ましいことではありません。そのような時には教官に助言を求め、その助言を参考にして解決の方向を探るのが賢明なやり方と言えます。

学生の迷いや悩みの解決に援助を与え、学生生活をより豊かに過ごしてもらうために必要な助言を与えるための体制として、学生担任制を設けております。

また、休学、退学等の願い出や日本育英会などの奨学生の申請に当たっては、担任教官との面接や必要な助言を受けたいうえで申請することになっています。

平成8年度の学生担任教官は、6ページのとおりです。

なお、工学部及び農学部の1年次生に対しては、学生が所属する学部の教官が担任する正担任以外に、副担任として水戸地区学部の教官が緊急時にお世話することになっています。

上記の工学部及び農学部1年次学生の相談のため工学部・農学部の学生担任教官が7ページの表の時間帯に学生が来るのを、共通教育棟1階にあります学生相談室で待っていますので気軽に来室してください。

平成8年度入学者学生担任表

平成8年4月9日

学部	学科・コース・課程	正 担 任	補 助 担 任	副 担 任
人文学部	人文学科	相澤 敬久・伊藤 哲司 大久保幸郎・上田 武吾 大島 一芳・神田 大吾		
	社会科学科	東 敏雄・澤田 利夫 根本昭二郎・田村 武夫 守屋孝彦・徳江 和雄 朝野洋一・今橋 盛勝 佐藤 惠一・奈倉 文二		
	コミュニケーション学科	糟谷 政和・鈴木 健		
教育学部	学校教育教員養成課程	国語	田 口 守	
		社会	中川 浩一・早川 唯弘	
		数 学	工 藤 研 二	
		理 科	吉澤 勲・大辻 永	
		音 楽	佐 藤 篤	
		美 術	島 田 裕 之	
		保 健 体 育	尾 形 敬 史	
		技 術	永 島 利 明	
		家 庭	大 竹 は る み	
		英 語	市 川 真 理 子	
	教育科学(教育学)	新 井 孝 喜		
	養護学校教員養成課程	篠 田 晴 男		
	養護教諭養成課程	水 野 有 武		
	情報文化課程	小 島 秀 夫		
総合教育課程	松井 宗彦・木村 競			
理学部	数理科学科	菅 野 正 吉	堀 内 利 郎	
	自然機能科学科	平 山 昌 甫	金 子 正 夫	
	地球生命環境科学科	高 橋 正 樹	堀 良 通	
工学部	機械工学科	鴻 巢 眞 二	餉佐川憲彦 餉鴻巢眞二	渡邊 邦夫(人文)
	物質工学科	久 保 田 俊 夫	餉友田 陽 餉市村 稔	梅田 武敏(人文)
	電気電子工学科	真 瀬 寛	池 畑 隆	井島 宏幸(人文)
	メディア通信工学科	村 野 井 徹 夫	赤 羽 秀 郎	鄭 基成(人文)
	情報工学科	上 田 賀 一	大 瀧 保 広	森 啓(教育)
	都市システム工学科	井 上 亮 介	餉三村信男 餉野北舜介	田中 茂穂(教育)
	システム工学科 Aコース	米 澤 保 雄	別 役 廣	松井 宗彦(教育)
” Bコース	中 野 博 民	佐々木 豊		
農学部	生物生産学科	月 橋 輝 男	仲 根 健	柳田 昭平(理学)
	資源生物科学科	高 村 義 親	丹羽 勝・堤 将和	堀 良通(理学)

- ⑩ (1) 正担任は、それぞれの学部の教官が学生の支援に当たる。
 (2) 補助担任は、それぞれの学部の教官が正担任と共に学生の支援に当たる。
 (3) 副担任は、工、農学部1年次生の緊急時に対応するため水戸地区学部の教官が支援に当たる。

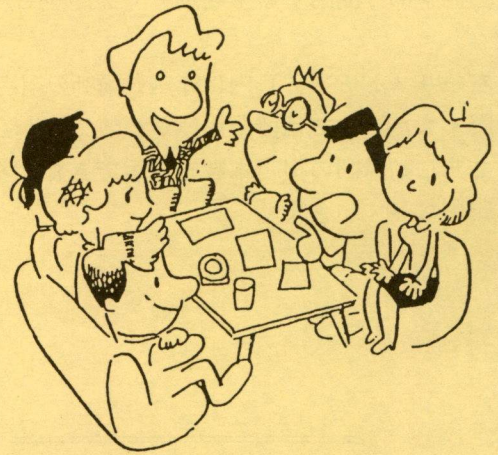
工・農学部学生相談室メンバー

工 学 部

期別	曜日	時 間	担当学科	教 官 名	期別	曜日	時 間	担当学科	教 官 名
前 学 期	月	12:00～12:30	電気電子工学科	間 瀬 寛	後 学 期	月	13:50～14:20	機 械 工 学 科	鴻 巣 眞 二
		17:30～17:45	情 報 工 学 科	上 田 賀 一			17:30～17:45	情 報 工 学 科	大 瀧 保 広
	火	10:20～11:20	都市システム工学科	三 村 信 男		火	15:30～16:00 17:30～17:45	システム工学科	佐々木 豊
	木	12:00～12:30	物 質 工 学 科	友 田 陽		木	10:00～10:30	物 質 工 学 科	市 村 稔
	金	10:00～10:30 12:00～12:30	メ デ ィ ア 通 信 工 学 科	赤 羽 秀 郎		金	10:20～11:20	都市システム工学科	野 北 舜 介
		13:50～14:20 15:50～16:20	システム工学科	別 役 廣			13:50～14:20 15:50～16:20	メ デ ィ ア 通 信 工 学 科	村野井 徹 夫
17:30～17:45		機 械 工 学 科	佐 川 憲 彦	16:00～16:30	電 気 電 子 工 学 科		池 畑 隆		

農 学 部

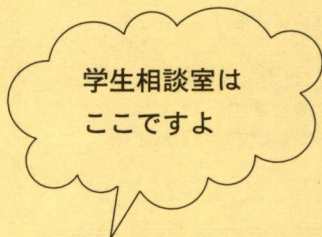
期別	曜日	時 間	担当学科	教 官 名
通 年	木 曜 日	10:30～12:00	生 物 生 産 物 生 資 源 生 産 物	仲 根 健
		13:00～16:00	生 物 生 産 物 生 資 源 生 産 物	仲 根 健 月 橋 輝 高 村 義 男 親



① 上記の曜日、時間外にも電話等での相談を受けますので
 必要の場合には、教養教育第二係に申し出てください。

② 相談室の場所：共通教育棟1号館・1階

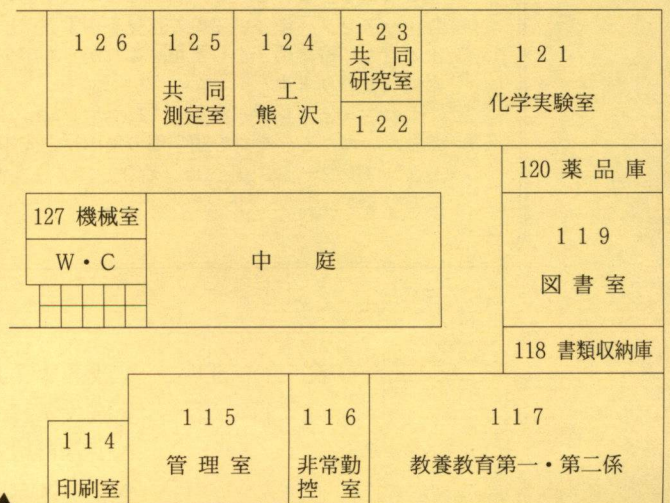
【工学部・農学部学生相談室】



133 体 育 測 定 室	132 シャワー室	131 工・農学部 学 生 相 談 室	130 準 備 室	129 更 衣 室	128 器 具 室
---------------------	--------------	---------------------------	--------------	--------------	--------------

109 教 育 服 部	110 環 境 工 作 室	111 教 育 大 嶋	112 工・農学部 水戸地区分室	113 作 業 員 室
-------------------	---------------------	-------------------	------------------------	----------------

共通教育棟1号館1階



正面玄関

教養教育 NOW

平成8年度教養科目授業本数は何本？

教養科目は何本くらい開講されているか知っていますか。

右にその内訳を掲載します。膨大な数ですね。これでも科目によっては不足しています。来年度はもっと本数を増加するようにセンターでは各学部呼びかけられています。工学部、農学部の情報関連科目は2年次に開講されますから、この表には含まれていません。また、各学部で開講する主題別ゼミナールも入っていません。

右のリストで（ ）内は非常勤講師の担当本数です。健康・スポーツでは授業形態が複雑ですから、授業本数で非常勤講師の担当本数を表示できません。それで*印になっています。

科目	本数
英語	119 (78)
ドイツ語	46 (31)
フランス語	17 (7)
ロシア語	6 (6)
中国語	26 (17)
朝鮮語	5 (2)
スペイン語	4 (4)
日本語	10 (4)
健康・スポーツ	106 (*)
情報関連	23 (5)
人文の分野	64 (6)
社会の分野	62 (3)
自然の分野	64 (5)
総合科目	48 (5.4)

つ ぶ や き

5月に発足した大学教育研究開発センターのニュースレター第1号をお届けいたします。編集にあたっては、「一年次学生と教職員を念頭においたセンターからの情報発信のチャンネル誌」になることを目指しました。そのためには、まずは①読み易い、②読んでおもしろい、③役に立つ情報も含まれている、ことなどが大切と考えた結果、このような内容になりました。このニュースレターについてのご意見を編集部に頂ければ幸いです。また、今号でも3名の一年次生の方々に寄稿頂きましたが、これからも学生諸氏や教官各位にもおおいに寄稿して頂きたいと願っております。

このニュースレター巻頭の“Rosa Plumula”は教育学部の鈴木昌友先生と吉田昭久先生にお教えいただき、それを同学部の島田裕之先生にデザイン願ったものであります。いまだこのニュースレターもPlumula(若芽)ですが、ゆっくりと着実に枝を上げてゆければと願っております。

(H.O.)

発行日 平成8年7月
発行者 茨城大学
大学教育研究開発センター
水戸市文京2-1-1
029(228)8416〔教養教育第二係〕